

莊田博己(未来の会)

競艇場の警備業務等の
合理化とアルコール販売

問 競艇場の警備は民間に委託している。だが、入札資格は5年間の公営競技の警備経験者となっている。これは、新規参入、競争原理の妨げとなっている。この条件を緩和できないか。

答 委託料が高いことは実感している。現在、緩和する方向で検討している。

問 アルコール販売が新しいファンを獲得し売上向上につながるなら、地元住民の理解が必要である。

蒲郡競艇場



「地域対策協議会」は透明で公平であるべきである。市民傍聴の許可と議事録の公開をする考えはあるか。

答 傍聴許可は協議会で諮って決めたい。議事録は閲覧する方向でいきたい。

その他の質問

- 1 市民会議室「書いてつ亭」
- 2 協働のまちづくり

鎌田篤司(新政クラブ)

企業誘致、流出防止の
対策は

問 企業の誘致策と流出防止策について、どのような考えを持っているか。工業立地法の改正により、緑化率(敷地内の緑地割合)の変更が緩和を含め条例で定められるようになったが、その取り組みは。

答 誘致策・流出防止策は6月議会後に「地域産業振興勉強会」を立ち上げ、税の減免、補助金交付等を含め勉強したい。法改正による緑化率の制



企業誘致のため開発を進める相楽町民成地区

定は県条例で行う。今後も機会をとらえて県に規制緩和を要望していきたい。

その他の質問

- 1 繊維産業の活性化
 - 2 商店街の振興策
 - 3 万博後の観光事業
 - 4 学校教育
- ア ゆとり教育と学力の低下
イ 学校行事の予算化

鈴木源六(新政クラブ)

介護保険の充実を

問 平成18年度から3年間介護保険料はどのよ

うになるのか。

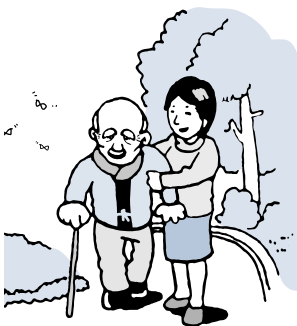
答 現行の保険料は5段階に分かれているが、第2段階を2つに分け、負担能力の低い層は現行の第1段階と同じ保険料率にと考えている。また、7段階設定も視野に入れ検討したい。

問 地域包括支援センターを創設することだが、その内容は。

答 総合的な相談窓口、介護予防マネージメントを担う機関である。国の指針では地域人口2万人から3万人に1カ所設けるようにとのことである。蒲郡市には在宅介護支援センターが5カ所あり、その施設を活用したいので、施設の意向を近いうちに調査したい。

その他の質問

- 1 J R 塩津駅周辺整備



伴 捷文(市政クラブ)

経済発展と

観光交流立市宣言について

問 商工会議所がこのほど今後3年間のアクシオンプランを公表した。市はどのように対応するのか。

答 アクシオンプランの重点項目は新産業創出、繊維産業の活性化、産業振興、産業観光の推進であり、市が抱えている課題と符合している。商工会議所とは今後も連携を密にしたい。

問 「観光交流立市」を3月議会で宣言した。市民参加が不可欠と考えるが、その後の取り組み状況はどのようなか。

答 市民フォーラムの開催、西浦小学校1年生の温泉体験などを行い、市民の理解拡大を図ってきた。今後は、各種団体と連携をとり「観光ウィーク」の実施、3月17日の宣言日を「観光の日」とすること、温泉の開放、シンボルマーク・キャッチフレーズの公募等を考えている。